

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために
手を取りあおう



2025-26 年度 山形南ロータリークラブ会長方針

「地域への奉仕を実現できるように、 感謝のエネルギーを拡散しましょう」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

RI会長：フランチェスコ・アレツツオ 2800地区ガバナー：小松 栄一 ガバナー補佐：伊藤 明彦
会長：奥村 健二 幹事：間木野 仁美 会報・史料委員会 委員長：伊藤 健二
委員：池田 等 石黒 雅知 森谷 正宏 松田 勝行 熊谷 一幸 金田 亮一

第2465回例会

2025-10/21(火) 天気(曇)

□例会場：パレスグランデール

□点鐘：PM 12:30 奥村 健二 会長

□ビジター：ガバナー 小松 栄一、第5グループガバナー補佐 伊藤 明彦、
地区副幹事 大沼 仁、地区副幹事 今田 優子、樋口 信治さん(大阪RC)

□司会進行 (SAA)：瀬野 敏和 君

□ロータリーソング：「奉仕の理想」

会長挨拶



皆さん、こんにちは。本日の例会はガバナー公式訪問例会です。小松ガバナー、にお越しいただいております。大変お忙しい中遠方よりお越しいただいたことに感謝申し上げます。今月10月は10クラブを公式訪問される予定と聞いております、短い時間ではありますが当クラブでの卓話を宜しくお願い申し上げます。ガバナー

公式訪問はガバナーと会員が直接触れ合う重要な機会です。小松ガバナーについて一言だけ言わせていただきますと、ポール

ハリス・フェローとロータリー財団大口寄付者、そしてベネファクター、米山功労者メジャードナー、を獲得されています。

RI会長がフランチェスコ・アレツツオ氏のメッセージが「よいことのために手を取り合おう」ということで、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーはより良い人間となり、人々に奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。成長奉仕つながりの旅

路を共に歩んでいきましょう、と言っておられます。次に2800地区の基本方針は「良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために」です。これは小松ガバナーに説明してもらいます。

次に私奥村年度のメッセージは「地域への奉仕を実現できるように、感謝のエネルギーを拡散しましょう。」です、具体的に女性会員を二名以上に増員する。そして3年計画で3・3・3

人と合計で60人に到達する会員増強を達成する、と考えました。

8月26日の会員増強お試し例会を行いましたが、約4名ほど

が入会の結果待ちです。会長を3ヶ月間就任して思うのは皆さん会員の協力なしにはクラブの運営も委員会も出席の要請も出来ないんだということが本当に身に染みてわかりました。陰ながら支えてくれた委員長や幹事、パスト会長などのアドバイスに助けられて何とかやってきました。会長幹事と会計で精一杯

やるので会員の皆さん例会にもっと参加して、会員増強を達成しましょう。小松ガバナーにおかれましては今後の活躍と健康に留意されて、クラブへの指導、助言をお願いします。ありがとうございました。

幹事報告 高梨 徹也 副幹事

- 今年の5月23日の例会時に東日本大震災避難者支援事業補助金を使いDoWondersさんにソフトボールを寄贈しましたが、去る9月16日から18日の3日間第9回東日本大震災復興支援DoWondersソフトボール大会が山形市総合スポーツセンターで開催されました。17日に夜には大会関係者の懇親会が開催されクラブより寺崎直前会長、浅野前幹事、大久保中長期検討委員長の3名で参加してまいりましたのでご報告いたします。
- 今月のロータリーレートは112円です。
- 本日例会終了後、理事会を開催致します。

伊勢 和正君 小松ガバナー本日はありがとうございます。高校の同級生で小松ガバナーは学年でトップでした。

鉄 浩二君 ロータリーゴルフコンペ参加。団体戦で5位でした。来年もよろしくお願いします。ニアピンいただきました。

松山 啓一君 ロータリークラブゴルフコンペに参加させていただきました。ニアピンいただきました。

森谷 正宏君 きらやか会でこども食堂への寄付で山形市より感謝状いただきました。

委員会報告 森谷 正宏 ロータリー財団小委員長

□ニコニコBOX 渡邊 清則 君

奥村 健二君 小松ガバナー、伊藤ガバナー補佐、本日はありがとうございます。

大久保章宏君 小松ガバナー本日はよろしくお願いします。きらやか会でこども食堂への寄付で山形市より感謝状いただきました。

菊地 賀治君 小松ガバナー本日はようこそいらっしゃいました。よろしくお願いします。



記念撮影

11月17日(月)新そば例会で寄付を集めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

例会場／パレスグランデール 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稻荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日 山形西 山形イブニング 火曜日 山形中央 水曜日 山形 木曜日 山形北 金曜日 山形東



ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2800地区
2025-26年度ガバナー
小松 栄一 氏(寒河江RC)

フランチェスコ・アレツツオ RI会長メッセージ

今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：

「UNITE FOR GOOD：よいことのために手を取りあおう」

シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。

2025-26年度ガバナーメッセージ

良い事をしよう 地域で、世界で、未来のために

2019年12月に新型コロナ感染症のパンデミックが発生してから6年目になりました。一方で新たな感染症の発生や、再興感染症と言われる古くて新しい感染症の発生も危惧されており、21世紀は新たな感染症との戦いの世紀と言っても過言ではありません。また、2022年2月24日にロシアがウクライナに電撃的侵攻を開始しました。2023年10月7日にハマスの電撃ロケット攻撃に始まったパレスチナ・イスラエル戦争は泥沼の状態が続いている。世界中で分断の時代に突入したと言われていますが、分断はあらゆる面に広がり、温暖化、人口問題(人口増、人口減いずれも)、食料、経済問題、感染症、ジェンダー、ハラスメント、世代間格差、アンコンシャスバイアス等々数えきれない分断の場面が浮かび上がります。これらの問題は、いずれも解決しなければ人類の存亡に直接影響を及ぼす問題であったり、人類の未来を左右する問題ばかりです。そんな中にあって、私たちロータリアンは何を求められ、何を為すべきなのでしょうか。最近は、ロータリーは優れたボランティア団体です述べるRIの重鎮が増えています。若い世代にはその方が評価されるということの様ですが、それだけでいいのでしょうか。

私は、ロータリーの基本は「ロータリーの目的：object of Rotary」にあると教えられてきました。皆さんもロータリーの目的を十分理解されていると思いますが、今一度見直してみましょう。ロータリーの目的の本文、「奉仕の理念を奨励し育む」とは何を意味しているのでしょうか。奉仕の理念とは何でしょうか？奉仕の理念とは、フランクリン・コリンズの言った「超我の奉仕：service above self」であり、アーサー・フレデリック・シェルドンによる「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる：One profits most who serves best」に現されています。この二つのモットーを理解し、自分の行動に如何に取り入れるかを考えることが、私たちに求められていると考えます。ロータリーの目的では、その為に具体的に行うべきことを五大奉仕として例示しています。世界中で格差拡大と多くの分断が発生していると述べましたが、その格差や分断を埋める方法はあるのでしょうか。私は、「チャレンジできる公平な環境を作る」ことが問題の解決につながるのではないかと考えます。そのためには、私たちが地域や世界中で格差の改善、分断解消のための活動を行うこと。特に若者に対する支援を積極的に行うことが必要なのではないかと考えます。

このような考えに基づいて、私の年度は、『良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために。』というガバナーメッセージを発することに致しました。クラブ活動で学んだことを応用し、地域での活動を活発化させて、地域の抱える問題を発掘しそしてその解決に挑んでいただきたい。また、皆さんの目を海外に向けて、世界中で困っている人がいる現状を具に見、手を差し伸べてほしい。それには、ロータリー財団や米山奨学会の存在が私たちの活動の手助けになるでしょう。また、若い人々の意見も取り入れ、新発想で地域の諸問題解決に挑んでいただきたいと考えます。

そして、未来のために私たちができる事を惜しみなく行いましょう。今が良ければそれでいいといった身勝手は人類の破滅、地球の破滅をもたらします。そうならないために何をすべきか考えてください。それは、職業奉仕でも、社会奉仕でも、国際奉仕でも、青少年奉仕でもなんでもいいのです。クラブ活動を通じて奉仕の精神を学び、そして実際に社会で活動しましょう。実践なきところに成果はない。ロータリアンは実践の徒なのです。その結果として、ロータリーの活動がさらに活発になり、それを見ている職業人や若者が私たちの考えに賛同してくれ、そして仲間が増える。さらに、ロータリーの活動が活発になる。そんな好循環を私たちを目指したいと思います。

地区重点事項として以下の10項目をあげました。

1. 行動計画の理解
2. 3 year rolling goalsの実践
3. クラブ活性化
4. 公共イメージ向上・会員増強
5. ロータリーを学ぼう
6. 職業奉仕を学ぼう
7. ロータリーデー記念事業：「それぞれの最上川物語 part 3」
8. ロータリー財団への貢献
9. 米山奨学会への貢献
10. 青少年奉仕を充実させよう

これらの項目について、ガバナー月信7月号をご覧頂いた上で、クラブでご検討頂き、それぞれの取り組みを考えて頂きたいと思います。



○本日出席・前回修正出席

	会員総数	算出会員数	出席会員数	出席率
本日	49名		31名	
前回修正				

※本日の結果は2週間後に報告 ※修正は2週間前の結果報告

出席会員数 ÷ 算出会員数 = 出席率

算出会員数とは？ 出席義務会員 + メイク免除会員の出席者

出席会員数とは？ 出席義務会員の出席者 + メイク免除会員の出席者 + メイク会員